

ミミナグサ と オランダミミナグサ

ミミナグサは、葉の形がネズミの耳に似ていることからついた名前です。かつては畑や庭など、どこでも見られる草でした。ところが、このごろ庭に生えているのは、帰化植物のオランダミミナグサばかりで、在来種のミミナグサはすっかり姿を消してしまいました。

オランダミミナグサは、花の柄が短く、固まって咲きますが、ミミナグサは花の柄が長く広がるように花をつけます。また、ミミナグサの茎は紫色がかかっており、葉はやや細く、毛が少ないことでも見分けられます。

マップを見て両者がどのようにすみ分けているか調べてみましょう。

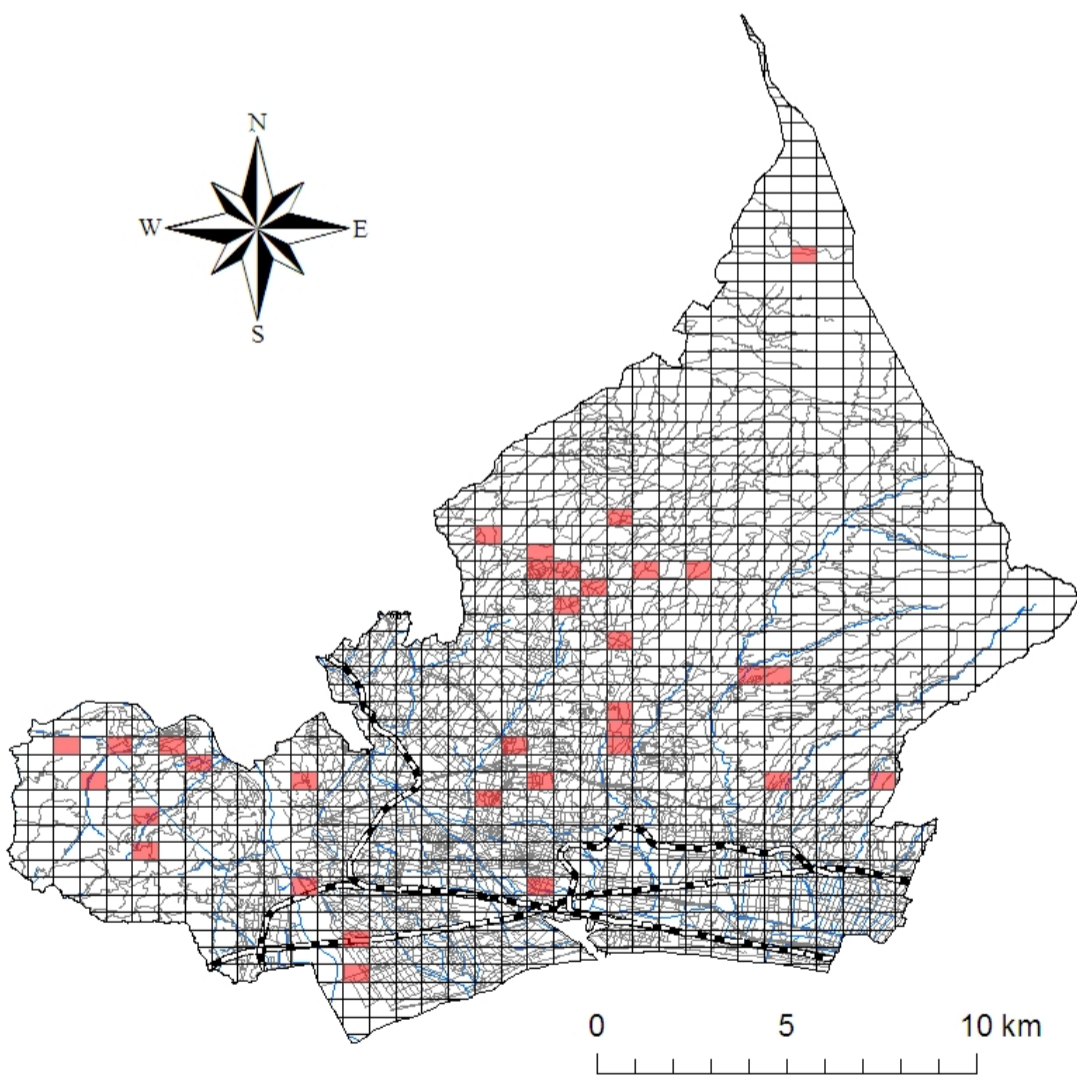
ミミナグサ



オランダミミナグサ



ミミナグサを確認したメッシュ



オランダミミナグサを確認したメッシュ

